

神戸  
市会議員ひら の  
平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市議員団・無所属の会  
神戸市中央区加納町6丁目5-1  
電話 331-8181 会派直通内線 7060

## 神戸空港は、4月18日より国際線が就航(当初週40便から)

韓国(ソウル)・中国(上海・南京)・台湾(台北・台中)の4航空会社が定期便に近い形でチャーター便を就航。

すでに発表済み4航空会社を含む20航空会社(韓国・中国・台湾・モンゴル等)からも就航希望がある。

兵庫運河が「自然共生サイト」3月14日に環境大臣認定!  
同時に国際データベースにも登録!

「自然共生サイト」の認定は、2023年12月に国連のCOP15(生物多様性条約第15回締約国会議)で採択された新たな世界目標である「30by30」(生物多様性のため2030年までに各の陸と海の各々30%以上の面積を保全する世界目標)達成のための日本における取り組みの一環。

※1:自然共生サイト

環境省により、企業、団体、自治体等によって生物多様性の保全が図られている区域を認定する仕組みです。



兵庫運河あつまれ生き物の浜

中学校(兵庫区5校:夢野・渾川・兵庫・須佐野・吉田中学校)の  
センター方式の給食が2026年1月より開始予定

学校給食センターで調理した給食を配送する方式で、温かい給食を兵庫区の5つの中学校にて提供開始予定!(神戸市第二学校給食センターが2025年10月完成予定)



中学校給食

## 中学校の部活動の地域移行(コペカツ)が2026年9月より本格移行

活動団体の第1次募集で神戸市全体で620団体が応募

部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来にわたって子供達が主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することも目的に生徒が地域の方々と共に活動する内容です。



コペカツイメージ

## 病児保育の兵庫区設置を強く要望!!

神戸市は、政令市トップレベルの病児保育施設24施設を整備済みであるが、兵庫区は、未設置のため強く設置を要望。合わせて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にしたうえで、予約まで完結できるシステム構築を要望

## 祭りなどのぼりの設置に関わる条例改正を実現!

神社などが祭りの際、のぼりがガードレールなどに設置することが神戸市屋外広告物条例にふれ、違反。祭りを大切にしたい思いから、条例改正を神戸市へ要望し、実現!

## 湊川(パークタウン)にスタートアップ支援施設ができます

起業家を支援、地域経済の活性化に寄与するため、湊川エリア(パークタウン)に新たにインキュベーション施設が設置されます。

\*インキュベーション施設とは、起業家やスタートアップ企業を支援するための施設。

神戸空港 国際化(2025年4月よりチャーター便開始) 2030年定期便就航に向けて  
CIQ(税関 出入国管理 検疫)含めた国際ターミナル内のスタッフ、警備などの対応体制は、確保できているが、安全に運用をしていくために週40便からスタートする。



国際チャーター便 4航空会社の航路とダイヤ

## 兵庫運河



世界銀行が兵庫運河を視察(約40名)2024年11月13日

兵庫運河は、波が高い和田岬沖を避けて安全な船の運行のために、1899年明治32年に整備され、5つの運河で構成され、我が国最大の運河(6470m)で、明治三大土木遺産の一つでもあります。参考までに小樽運河は、全長1140mです。戦後は、貯木場として活躍したが、一方で運河の汚染が深刻になったことから、きれいな水辺によりみがえらせようと地域地元の方々が力を合わせ、(2013年設立の5団体からなる自然を再生プロジェクト)さらに兵庫運河の自然を再生するため、人工の干潟や砂浜が整備され、アマモの移植やアサリの保全、いきものの生育調査など様々な取り組みが行われたことで、水質は大きく改善し、多種多様な生物が生息しています。また、里海の持続を目指して環境学習の場としても利用されています。さらに、環境学習施設が令和7年度にできる予定です。昨年11月には世界銀行が兵庫運河を視察しました。

## 兵庫区の中学校 湯かいセンター方式給食の開始について

令和3年に兵庫区5つの中学校給食については、給食センターを整備することとなり、令和4年1月12日に、学校給食センター整備計画(2箇所)を策定し、整備に向けた手続きを進めたが、兵庫区5校分については、北区藤原台での整備で予定していた。しかし地元の合意に時間がかかり、早期移行をはかるため建設予定地を西区に変更しました。神戸市第二学校給食センターとして(兵庫区5校、灘区5校、北区16校)2025年10月完成を目指しています。給食センターで調理した湯かい給食をそれぞれの学校に配送する方式で、兵庫区の5校の中学校では、来年1月から始まります。



神戸市第二学校給食センター完成イメージ

	開始年月	対象	提供方式
第1期: 10校 〔2024年度2学期〕	2024年9月	中央区6校 (生徒数2,131人)	民間調理施設方式 ・ウオクニ(株)
	2024年10月	須磨区3校 (生徒数1,140人)	親子調理方式
第2期: 19校 〔2024年度3学期〕	2025年1月	須磨区8校 垂水区11校 (生徒数8,371人)	給食センター方式 ・第一学校給食センター
第3期: 19校 〔2025年度1学期〕	2025年4月	長田区6校 西区13校 (生徒数7,939人)	民間調理施設方式 ・(株)グルメサービス ・(株)コープフーズ
第4期: 33校 〔2025年度3学期〕	2026年1月	東灘区7校 (生徒数4,291人)	民間調理施設方式 ・(株)万福
		灘区5校 兵庫区5校 北区16校 (生徒数9,972人)	給食センター方式 ・第二学校給食センター

※生徒数は、2023年5月現在です。

中学校給食提供スケジュール

## 祭礼などの一時的に設置する広告物について条例改正を実現

### ・景観面における祭礼の歴史的・文化的意義を考慮

祭礼は、地域固有の歴史や文化が感じられる「ハレ(非日常)」の景観を作り出しています。したがって、一時的(1週間程度までの期間)に旗ざおを設置するような場合は、制限をするよりも、むしろなるべく広く認めていくことが望ましいといえます。

例えば、信号機や道路標識が見えなくなるような旗ざお等の設置は当然認められるものではありませんが、交通の安全と円滑を阻害しない範囲でガードレール等に設置するのであればこれを制限するまでの必要はないと考えます。

以上の事情を考慮し、条例第11条2項および3項を改正し、地域における祭礼等のため一時的に表示し、又は設置する広告物を、歩道の柵等の表示禁止物件に表示、設置できるようにします。

### 3. 施行予定

令和7年第1回定例市会(2月議会)に条例改正議案を提出し、議決を得て令和7年4月施行予定

神戸市屋外広告物条例改正理由要旨



のぼり

改正前の条例は、祭礼時のぼりを掲げることは、可能であったが、設置可能場所(条例適用外)がなかったというチグハグな条例になっていた。地元の祭りの際に相談を受け、神戸市の条例内容や京都市など他都市も条例も確認。神戸市の条例が時代に合っていないことも併せて指摘。条例改正を実現

# 予算特別委員会 こども家庭局審査(2025年3月10日)より

## 病児保育について

**平野達司** 指定都市トップレベルの24施設を整備しているが、いまだに兵庫区は未設置の状態。

子育て環境の地域格差を解消のために、兵庫区への新規整備を進めていただきたい。



予算特別委員会こども家庭局質疑20250310

**中山こども家庭局長** 病児保育事業は、医師会と連携し全て小児科医がいる医療機関併設型で実施。今年度も兵庫区の医療機関に対して開設を働きかけたが、協力いただける医療機関の確保に至っていない。令和7年度予算は、兵庫区での開設を含む新規整備2か所を計上、改めて兵庫区内の小児科医のいる医療機関に足を運び、粘り強く開設の働きかけを行い、未設置状況の解消に向けて取り組んでまいりたい。

**平野達司** 私も兵庫区医師会には、様々な場で直接要望を伝えている。あわせて兵庫区に小児科が、北東部(平野地区)、運南地区にない。そのために参入促進や事業継続を支援する補助制度の充実を求められる。令和7年度予算案では基本単価の引上げや複数の異なる感染症の児童受入れ施設の加算が新設されるが十分か、施設への補助含めお考えは?

**中山こども家庭局長** 病児保育は、感染症の流行やキャンセルが多く、運営が不安定になりやすく、特性上保育士の確保も難しい事業。国は令和3年度以降基本単価の引上げやキャンセル加算の新設など支援を強化しており、本市も独自の利用人数加算や保育士の待遇改善などの補助を行っている。

今後は、利用者を増やす広報や保育人材の確保の支援を進め兵庫区での開設も取り組んでまいりたい。

**平野達司** 兵庫区に病児保育ができるまで時間がかかる可能性も大きい。それまでの間の代替提案を是非検討いただきたい。例えば、ファミリーサポートの幼児保育版の導入。訪問型病児保育支援、またその利用料金の助成制度の導入など。併せて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にした上で予約まで完結できるシステム構築を検討いただきたい。

**岩城こども家庭局副局長** まずは兵庫区を含む市内への新規整備と今ある施設の運営、利用しやすい環境整備にも取り組んでいきたい。また、予約システム等のさらなる改善も取り組んでいきたい。

## 産後ケア事業における利用者の利便性向上について

**平野達司** 産後ケア事業の利用者が急増し、今後も増加が見込まれる。しかし、市との連絡は「e-KOBE」施設の予約や空き状況の確認は個別に電話対応となっており、申請から予約・調整まで一元的なシステムの導入が必要ではないか。

**中山こども家庭局長** 産後ケア事業は、母親の心身の回復や育児支援を目的とし、神戸市では全国平均(1割)を大きく上回る3割が利用し、高い満足度を得ている。利用者増加に伴い、利便性向上が求められており、電子申請の導入

や申請受付の前倒し、2回目以降は直接施設に申し込む仕組みを改善予定。しかし、施設の空き状況確認には電話対応が必要など課題もある。今後は、利用申請から空き状況確認まで一括で管理できるシステムの導入を、施設の意見を聞きながら検討していく。

他に児童館における英語学習や国際交流について、親が子育てについて学ぶ場所(親のコーチング)についても質疑いたしました。

## 中学校 部活動の地域移行 コベカツ

少子化による生徒数減少により部活動の種目減や、活動の選択肢が少なくなる傾向にあり、教員の働き方改革など様々な理由で部活動の現状は、以前と大きく変わっていきます。

生徒がより自由に「やりたいこと」を選べるよう、2026年9月に平日・休日ともに、「神戸の地域クラブ活動」=「KOBE◆KATSU(コベカツ)」へ移行します。地域の様々な方々と共に、校区を超えて多様な活動に参加できる仕組みです。経済的な事情や活動地域の偏りなど関わらず充実した活動ができるよう引き続き議論していきます。

コベカツ一次募集結果は[こちら](#)  
コベカツHP



神戸市会議員  
平野達司(たつじ)  
事務所

神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F  
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301  
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP

神戸市会の本会議、  
委員会をインターネットにて  
閲覧できます。



神戸市会

# 予算特別委員会 経済観光局審査(2025年3月6日)より 中央卸売市場での青果物の集荷促進について

平野達司 中央卸売市場を取り巻く環境が変化、人口減少や取引の多様化による取扱量の減少、トラック輸送に関わる2024年問題の状況の中、(中央卸売市場は生産者から消費者をつなぐ流通の要)活性化には、生産(農漁業)・流通(卸・卸売市場)・消費(小売市場・商店街・大型食料品店・宿泊施設・観光)を一体的に連携させる重要な性質を昨年に引き継ぎ質疑



広域物流拠点施策(中央卸売市場)

## 課題

- 神戸卸売市場への安定した出荷手段が必要
- 物流の課題(2024年問題への不安)
- 高齢化による生産・出荷負担の軽減が必要



予算特別委員会経済観光局質疑  
20250306

大畠経済観光局長

(来年度から以下を取り組む)

- 青果物の規格(サイズ・選別・色傷など)の簡素化→生産者の負担を減らし、生産拡大を促進
- 定期トラック便の運行→産地を巡回し、神戸中央卸売市場への安定的な物流の確保

まずは4tトラックで運行開始。市場全体の9万tに対しては小規模だが、安定した出荷先の確保と近隣産地の生産拡大につながる好循環を目指し進める。

平野達司 神戸での大型スーパー出店に対し中央卸売市場を介す取引量拡大のための働きかけについて

大畠経済観光局長 仲卸事業者に新規店舗出店情報を敏感に把握できることを呼びかけ取引につなげていく。新規出店事業者、新規開業、宿泊施設、スーパー、に具体的に訪問し、中央卸売市場の機能強みをPRし、新たな販売ルートに神戸中央卸売市場を経由した取引拡大に繋がる取り組みを行う

## 水産鮮魚卸売場の場内照明設備について

平野達司 本場水産卸売場の場内照明設備が水銀燈・蛍光灯・さらに消えていることもある。LED化を早期に実施すべき

中尾中央卸売市場本場長 水産鮮魚卸売場の照明LED化の必要性は市としても当然認識している

鮮魚卸売場の照明のLED化にあたっては、照度、色の指定、スイッチのゾーニングを今年度より卸売事業者と協議を開始しており、令和7年の年度中には詳細な内容を決定したい。工事の概算金額を把握した上で必要な予算を確保し、早期のLED化を実現したい。



神戸市立中央卸売市場本場

## 1次産業について

平野達司 農業と比べ漁業に対する支援が手薄ではないか?持続可能な漁業を推進するために、漁業の担い手確保や関係人口の増加に向けて市内外の周知、強化をすべきではないか?

椿野担当局長 市としては引き続き地域の漁業の情報発信に努め、新規漁業就業者への支援も国の制度が活用できるよう地元の漁業協同組合等と連携して取り組んでいきたい。

平野達司 是非地元で使えるようにお願いしたい。特に水産庁が様々な制度を用意しているが、実態のところは全漁連、県漁連がその補助を使っており地元がなかなか使えない。採択されてもなかなか継続的に使わせてもらえないことを現場で聞いている。水産庁の制度をうまく使える支援をお願いする。

## 市場・商店街の暑さ対策について

平野達司 要望していた夏場の異常高温による暑さ対策、令和7年度から地域商業活性化支援事業の対象メニューに熱中症対策項目を加えたこと評価したい。ニーズのあったきめ細やかな支援をしていくべきだが見解を

井原経済観光局長 訪れる市民が快適かつ安全に過ごせるような環境を整えることが重要

夏場に高温が常態化している状況を受けご指摘の通り来年度から地域商業活性化支援事業の補助対象事業に熱中症対策という項目を新たに付け加えた。

これにより例えば休憩スペース整備やアーケードにミストを設置などにも補助をすることにより一層、市民に快適かつ安全に良い買い物を楽しんでもらえるような取り組みを支援するもの

## ルミナリエの分散開催とヴィッセル神戸の提案について

平野達司 ルミナリエの分散開催の一環として、兵庫区・ノエビアスタジアムでの展示を提案。

大畠経済観光局長 ルミナリエは東遊園地や旧外国人居留地、メリケンパークなどで開催し、回遊性向上を図っている。ハーバーランドや新港町では地元事業者と連携し、イルミネーション事業を実施。今後も既存のライトアップイベントと協力し、PRや誘客を進めたい。兵庫区でも関連イベントがあれば積極的に連携

を検討する。

平野達司 ヴィッセル神戸から相談があり、同チームは震災の年に誕生し、鎮魂の意味でもルミナリエと関係が深い。コロナ禍でルミナリエが中止の可能性があった際、ノエビアスタジアムでイルミネーションを実施した経緯もある。スタジアムや御崎公園での開催は新たな可能性を生むため、課題はあるがヴィッセル神戸と協議を進めていただきたいと要望

## スタートアップ企業を神戸に定着させるための取組について(2点)

平野達司 神戸のスタートアップを神戸に根付かせるために、スタートアップと地元企業との協業を促進すべき、また、神戸で人材育成(AI最先端の東大松尾研への人材派遣など)で他都市差別化をどのように図るのか

大畠経済観光局長 ①スタートアップの定着と企業連携  
企業コラボの推進と新プログラムこれまでイノベーション創出(15社)、デザイン経営支援(36社)、オープンイノベーションマッチング(317社応募)などを実施し、着実に進展。2024年からは「KOBE BUSINESS PROGRAM So-I」として事業を統合し、行政課

題の解決も含め、市内企業とスタートアップを一体的に支援。今後も協業を促進し、企業の高付加価値化とスタートアップの成長を支援する。

瀬合副局長 ②神戸での高度デジタル人材育成

日本のデジタル人材は世界67か国中最下位とされ、育成が急務。神戸では神戸大学のシステム情報学部新設など最先端の教育を推進。さらに、シンガポール拠点の活用や企業との共同研究を通じて、グローバルに活躍できる人材を育成し、他都市との差別化を図る。

## 湊川(パークタウン)に スタートアップ支援施設ができます

神戸で生まれたスタートアップ企業をもっと増やすために市内企業などと協力して、新しいファンドを作り、神戸独自のスタートアップ支援を続けるための新しい法人の設立を検討し、首都圏等で活躍する神戸ゆかりの経営者等とも連携しスタートアップ支援を強化していく施策のひとつです。昨年質疑した神戸独自の神戸経済成長させるための施策のひとつが進みます。

## ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございます。また市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は市当局へ直接申入れ、お答えして参りました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するように求めてきました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。

今回は、令和7年第1回定例市会を中心にご報告させていただきました。